

わんわんカルテット

犬を飼うときのマナー、法律で決まっていること、犬の病気、そして犬から人へと感染する病気について学ぶために、カードゲームを利用した教材をつくりました（対象年齢5才以上）。家族や友だちなどと遊びながら、基本的な情報が得られます。また、社会で活躍する犬（ほじょ犬）について理解が広まるよう、紹介しています。パンフレットでは、遊び方とカードの内容をより詳しく解説しています。

🦴 おうちにやってきた

犬を飼う前には、家族全員で、よく話し合しましょう。どのくらいまで大きくなるのか、どんな世話をすればよいのか、どんな病気があるのかなどよく調べてみましょう。本を読んだり、同じ犬を飼っている人に話を聞いてみたり、実際に世話のお手伝いをさせてもらうことも良いでしょう。犬の平均寿命は約15年です。亡くなるまで毎日世話をし、一緒に暮らすことになります。

1. なまえ



2. ずっといっしょ



3. おせわ



4. さんぽ



参考 「ほんとうに飼えるかな？（子ども向け）」（環境省）

URL : http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/1911b.html

「飼い主の方やこれからペットを飼う方へ」（環境省）

URL : <http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/pickup/owner.html>

🦴 おやくそく

日本では、犬や人が狂犬病（赤のカード参照）にならないように、法律（狂犬病予防法）によって、①生後3か月以上の犬は居住地の市区町村役場へ登録すること、②犬は毎年1回狂犬病予防注射をすること、③犬には登録済みと予防注射済みの証明の鑑札と注射済票をつけておくことが義務づけられています（鑑札や注射済票をつけていると迷子になったときに保健所で保護されても飼い主に連絡がつき、早く見つけることができます）。これらを守らなかった場合には、罰金の対象となります。

日本国内の予防接種率が75%以下になると、国外から狂犬病が入ってきた時に、国内の犬などに感染が広がるおそれがあります。平成19年では、登録されている犬の予防接種率は75.6%（厚生労働省）、飼育頭数から推定した予防接種率では41%（日本獣医師会）と報告されています。

1. 30日



2. なふだ



3. ちゅうしゃ



4. しるし



しつけ・けんこう

犬を飼うことは、その命を預かることです。犬が快適・健康に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑をかけないようにする責任があります。犬と人が共に生きていける社会の実現には、飼い主のモラルとマナーが必要です。環境省は動物の愛護及び管理に関する法律を定めています。

1. おいで



2. おすわり



3. まて



4. トイレ



1. しょくよく



2. けなみ



3. はな



4. ふん



参考 「動物の愛護及び管理に関する法律のあらまし」

URL : http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/1903.html

いぬがびょうきになったら

犬が感染しやすい病気は、犬回虫症、パルボウイルス感染症、ジステンパー、フィラリア症などがあります。犬回虫症は、子犬が感染していることが多く、検便し、もし感染していたらお薬を飲ませて治療します。パルボウイルス感染症も子犬が感染しやすく、重症になると亡くなることもあります。犬の病気予防のため、一般的に5種（ジステンパー、パルボウイルス感染症、伝染性肝炎、伝染性咽頭気管支炎、犬パラインフルエンザ）混合ワクチンを接種します。フィラリア症は、蚊に刺されて感染するため、夏の間予防薬を飲ませます。

1. めやに



2. せき



3. げり



4. おなか



きをつけよう

犬とその環境を清潔に保つことは病気の予防につながります。シャンプーやブラッシングで清潔にする、ノミなどを駆除（くじょ）する、小屋やケージを掃除し敷物を洗って細菌が繁殖しないようにします。

また、犬には病気をおこさなくても、人に病気をおこす病原体（細菌やウイルス）を体内にもっていることがあるので、どんなにかわいくても、口移しでえさを与えてはいけません。犬の口の中には色々な病原体がいます。また、知らない間にだ液などにふれていることがあるので、さわった後は必ず手を洗いましょう。

1. ブラッシング



2. そうじ



3. てあらい



4. キスしない



🦷 きょうけんびょう

犬も人も症状がでたら100%亡くなる病気として狂犬病があります。人は、狂犬病に感染している犬やネコ、アライグマ、キツネ、スカンク、コウモリなどのほ乳類にかまれて感染します。かまれた後、1か月以上たってから、発熱、頭痛などが始まり、幻覚、水(液体)を飲むとけいれんを起こすなどの症状がでます。そして、よだれを流し、呼吸ができなくなって亡くなります。1957年以降国内感染による患者は発生していませんが、2006年に海外で犬にかまれ、帰国後狂犬病の症状がでて亡くなった2人の例が報告されています。アジア、アメリカ、ヨーロッパなど、世界で年間3~5万人が亡くなっています。

飼い主は、年に1回4月から6月までの狂犬病予防注射期間に、狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。

1. ほにゆるい



2. 100%



3. ちりょう



4. 5まんにん



参考 「動物由来感染症を知っていますか」(厚生労働省検疫所)

URL : <http://www.forth.go.jp/mhlw/animal/>

「海外旅行者のための感染症情報：狂犬病」(厚生労働省検疫所)

URL : http://www.forth.go.jp/tourist/kansen/20_rabies.html

🦷 まちでかつやく

まちで活躍する犬の仲間目や耳やからだの不自由な人のお手伝いをする補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)がいます。公共施設や交通機関、飲食店、スーパーなどのいろいろな場所に同伴し、からだの不自由な人の自立と社会参加を助けています。お店や施設の入口にシールが貼ってあります。補助犬と一緒に暮らせる社会をつくっていきましょう。

1. ほじょけん



2. もうどうけん



3. かいじょけん



4. ちょうどうけん



参考 「ほじょ犬」(厚生労働省)

URL : <http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hojyoken/index.html>